

お知らせ

<2004年4月から2011年10月までに川崎医科大学附属病院呼吸器外科において原発性肺癌に対して手術（肺葉切除術）を受けられた患者さんへ>

2004年4月から2011年10月までに当院呼吸器外科で原発性肺癌のため手術を受けられた方の一部を対象として、手術前の胸部CT所見と切除肺の病理学的所見と比較して、適切な手術術式を探索するための検討を行っています。現在、原発性肺癌に対する標準術式は肺葉切除およびリンパ節郭清です。しかし、近年ではCTによる肺癌検診の普及などに伴い小型でより早期の肺癌が多く診断されるようになっており、それら小型肺癌に対する縮小手術（肺部分切除や区域切除という手術で、肺をより小さく切除する手術方法）が妥当であるかを調べるための臨床試験が全国規模で行われています。一方、小型肺癌の中には高率にリンパ節転移を有するなど進行した癌が一定の割合で含まれていますが、それらを胸部CT所見のみで正確に見分けることは困難な場合があります。本研究では手術前の胸部CT所見と、臨床病理学的因子との関連性を詳細に検討して、従来までの標準手術をすべき肺癌と、縮小手術でも根治性が損なわれない肺癌との鑑別を明らかにして、今後の肺癌の手術をより適切なものにするのが目的です。具体的には診療記録（カルテ）とCT画像、切除した肺癌の病理検査結果を照らし合わせて、手術前の情報から肺癌の悪性度や再発のリスクなどを評価します。なお、遺伝子の検索は行っておりません。本研究の結果は学会・論文等で報告する予定ですが、個人情報厳密に管理致します。手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」で同意を頂いている方が対象となりますが、同意を撤回される希望のある方や本研究に同意されない方は下記連絡先までご連絡をお願い致します。また、本研究は、学内研究費のみを使用する臨床研究であるため、利益相反は起こりません。

なお、この研究は川崎医科大学倫理委員会の審査・承認を得ていますことを申し添えます。

問い合わせ先：川崎医科大学附属病院呼吸器外科 最相晋輔

電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL：川崎医科大学病院代表(086-462-1111) 呼吸器外科実験室(内線 25519)

FAX：086-464-1124